

1. 件 名：関西電力株式会社の令和5年度支援組織との連携訓練（原子力事業者防災訓練の要素訓練）に関する意見交換について
2. 日 時：令和5年12月21日(木) 13時30分～14時55分
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者（現地及びテレビ会議システムによる出席）
 - 原子力規制庁
 - 緊急事案対策室
 - 川崎調整官、反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職、五十嵐係員
 - 大飯原子力規制事務所
 - 西村専門官
 - 高浜原子力規制事務所
 - 山崎専門官
 - 関西電力株式会社
 - 原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他2名
 - 【事業者間ピアレビュー事業者】
 - 中国電力株式会社
 - 電源事業本部 原子力運営グループ 副長 他2名
 - 四国電力株式会社
 - 原子力本部 管理グループ グループリーダー 他4名
 - 日本原子力発電株式会社
 - 発電管理室 警備・防災グループ 副主任

5. 要 旨

関西電力株式会社から令和5年11月9日に実施した令和5年度支援組織との連携訓練（原子力事業者防災訓練の要素訓練）の実施結果について、資料に基づき説明があった。

原子力規制庁及び事業者間ピアレビューを行う中国電力株式会社・四国電力株式会社・日本原子力発電株式会社から以下についてコメントし、関西電力株式会社から本日の面談を踏まえ対応する旨の回答があった。

- ・当該訓練について、当初は令和5年10月20日に福井県原子力防災訓練（高浜発電所対象）に合わせて実施する予定が、荒天のため11月9日に変更して実施されているが、当初の計画に対して実績としてどのような体制・スケジュールで実施されたか具体的に示されていないので、整理して提示すること。

- ・ 訓練の社外評価について、訓練の動画によって評価基準チェックシートに基づく評価が行われているが、評価の期待事項が達成されているか確認する上で必要な、前線施設付近の空間線量率の測定記録や除染記録などのエビデンスが事業者間ピアレビュー事業者に示されず、また社内評価で具体的にどのような対応を確認しているのか示されていないので、適切な社外評価ができるよう整理して提示すること。
- ・ 気づき、良好事例一覧表について、改善領域の抽出や指標との紐付けの確認が適切に実施されているかや、コメント内容に対して適切に対応方針の検討が行われているかが、事業者間ピアレビュー事業者にもわかるように改めて整理して提示すること。
- ・ 重要課題として挙げられている事例について、訓練に参加した関西電力株式会社社員と協力会社社員との連携の観点で、具体的な良好事例や課題が抽出できないか分析を検討すること。

6. その他

配布資料：

資料 令和5年度支援組織との連携訓練（前線施設の設置・運営）実施結果（関西電力株式会社）